

会報

No. **108**

平成28(2016).3.1

「西脇市図書館が新しくなりました」

西脇市図書館長 楠本昌信

西脇市図書館は、昭和59年4月に生活文化総合センターの一施設として郷土資料館と共に開館しました。西脇市の中心部にある童子山公園の一角で、32年間の長きにわたり、学習や娯楽、憩いの場として、多くの市民に親しまれてきましたが、新図書館への移転のため、昨年8月31日に惜しまれつつ閉館しました。

そして昨年10月18日、新しい図書館が西脇工業高校に隣接する住宅地に茜が丘複合施設「Mirai e」の一施設として開館しました。茜が丘複合施設には、図書館のほか、こどもプラザ、男女共同参画センター、コミュニティセンターがあり、屋外には多目的広場や遊具等もあり、幅広い年代の市民が訪れる賑わいのある施設となっています。

新しい図書館は、開架スペースが約1,570㎡で、約11万冊の資料が収納でき、旧図書館に比べると約1.5倍のスペースとなり、閉架書庫には約10万冊の資料が収納可能で、昨年12月末現在の蔵書数は約16万冊となっています。



西脇市茜が丘複合施設全景

新しい図書館では、利用者の利便性の向上を図るため、開館時間の拡大等様々な運営改善を行うと共に、新しいサービスも開始しました。開館時間については、旧図書館の10時～18時を1時間30分長くして、9時30分～19時とし、休館日については、旧図書館の毎週月曜日と月末(図書整理日)を毎月最終水曜日(図書整理日)の1回だけに縮減しました。

また新しいサービスとしては、読書通帳機や自動貸出機の導入、サービスポイントの設置等を実施しています。

読書通帳機は、銀行の預金通帳と同じサイズの読書通帳に、いま自分が借りている図書資料のタイトルや著者名、定価等を通帳に自ら印字することができる金融機関のATMのような機械で、「自分の読書履歴が目に見える形で分かる」と子どもから大人までの多くの利用者から好評を博しています。読書通帳は、図書館に登録されている利用者で、希望の方には無料で配布しています。またすべての蔵書をICタグで管理することで、セキュリティゲートの設置や自動貸出機の導入が実現し、図書資料の管理強化や利用者対応へのスピードアップ等が図られました。



西脇市図書館正面

西脇市図書館では、これまで館外サービスをほとんど実施できていませんでしたが、新館開館と同時に市内の隣保館やコミュニティセンター6か所に、図書の返却や予約図書の受け取りができるサービスポイントを設置しました。その他、DVDの視聴席を新たに設置し、無線LANの環境も整備して、館内どこでもパソコンが使用できるようになりました。

以上のような新しいサービスや運営の改善を実施するとともに、昨年度から今年度にかけて例年の2～3倍の予算で新しい図書や雑誌等を整備したこともあり、新館開館以来、旧図書館の2倍以上の多くの利用が続いています。

今後もさらに利用者の皆さんから多くの支持が得られるよう、また学校を始め、様々な団体との連携を推進すべく、「役立つ」「頼りになる」「楽しめる」図書館を目指して、職員一同一つになって邁進していきたいと考えています。

15年ですが

神戸市立中央図書館

まつお 松尾
そういちろう 宗一郎

今年度、永年勤続表彰をいただき、もう15年も図書館に勤務しているのだと改めて気付かされました。目録業務から始まり、電算システム担当、一般書コーナー、自動車図書館、地域図書館、郷土資料コーナーなどを経験し、現在はレファレンス担当として2年目です。

15年も司書をしているのですから、ベテランとまでは言えなくとも、中堅としてそれなりの技量を持っていないといけません。経験の浅いレファレンスの現場では、まだまだ力不足を痛感することが多いです。それでも先輩や同僚に助けをもらいながら、何とか利用者の調べもののお役に立てるよう日々努めています。

レファレンス協同データベースなど他都市の事例が回答の手がかりになることもよくあります。そんな時は、同じ職場の司書だけでなく全国の司書の方々と繋がっていて、教えられ助けられているのだと実感します。そのことを心強く思いながら、毎日レファレンスの窓口に立っています。

人と本が出会うこと

たつの市立御津図書館

おかむら 岡村
みわこ 美和子

先日、「心に響く」をテーマに朗読会を行いました。会は盛況で、宮澤賢治と同郷の方が東北弁で「雨ニモ負ケズ」を朗読してくださるなど、朗読者それぞれの個性や持ち味によって、活字に命が吹きこまれていきます。

司会進行のため部屋の隅に控えていた私には、参加者の顔が見えました。向田邦子の「字のない葉書」が終盤にさしかかった時、朗読を聞くご婦人の目に涙が浮かんだのです。作品の何かが琴線にふれたのでしょうか。その時、私の心に唐突に湧き上がってきたのは、「文学は人の心を支える」という思いでした。文学は人の心の奥深くに届き、人生をより深く味わわせてくれる。

図書館で利用者と接していると、一冊の本がいかにも楽しかったか、その人にとってかけがえのない大切な一冊となったかを垣間見ることがあります。私たちが貸し出しているのは、単なる物ではないことを実感する瞬間です。

本の力を信じて、一冊の重みを感じながら本を手渡していきたいと思います。

来フゥラリ～

図書館に復帰して

たつの市立龍野図書館

いしい 石井
きよこ 潔子

御津図書館で10年、行政で15年務め、また御津図書館へ戻ったのが、1市3町が合併し、「たつの市」となった半年後の平成18年4月でした。15年の間にパソコンの普及で図書館は様変わりし、本の発注はインターネット、装備付きでの納品、市内3館（御津以外）はシステム導入済み、利用者のハイレベルなレファレンスにもインターネットで対応等、私にとっては感嘆と不安で戸惑う毎日でした。

合併後は全市の一体化を図るためシステム統合計画があり、御津図書館では統合に向けて、全蔵書のバーコード貼りや登録、背ラベルの貼り直し作業に追われる日々が続きました。毎日、処理冊数の目標を定め、達成できた日もあればできなかつたりと一喜一憂したものでした。その分、稼働後の感動と喜びはひとしおでした。

現在は龍野図書館に勤務し2年目になります。童謡「あかとんぼ」の作詞者三木露風の生誕地であり、大正11年に露風から“文化の発展”にと100円の寄付で誕生した歴史ある図書館です。その遺志を念頭に置き、「文化や情報の発信源」「憩いの場」として図書館が地域の皆様に愛されるよう努めています。

図書館と共に

相生市立図書館

なかはま 中濱
まきほ

平成6年に相生市立図書館に司書として採用されてから早21年。右も左もわからないままがむしゃらに頑張っていた最初の頃がなつかしく感じられます。その間に図書館をとりまく環境は、大きく変わってきました。特に相生市立図書館では、私の育児休業、その後の市役所への異動の間に、窓口業務の一部業務委託が導入され、もとの職場に戻った時は、浦島太郎状態でした。

中でも変わったことは、窓口に出なくなったことで、利用者との対話がほとんどなくなり、利用者の声が直接届きにくく、また図書館側の思いも伝えにくくなったことです。けれども以前にくらべるとわずかな時間しか取れませんが、レファレンスを受け、目的の資料を見つけた時の利用者の感謝の言葉、以前カウンターで案内をさせていただき方にまた案内を頼みたいと言われたことなど、今まで自分がやってきたことに間違いがなかったと、あらためて思い起こすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

いつまで図書館に関わり続けることができるかわかりませんが、これからも努力を怠らず図書館の発展に尽くしたいと思います。

全国図書館大会助成事業報告

テーマ：「電子書籍サービスの導入について」

開催日：平成27（2015）年10月15日（木）

会場：神戸市立中央図書館

講師：浅野 隆夫 氏

（札幌市中央図書館利用サービス課都心図書館担当係長）

平成26年10月より電子書籍の貸出サービスを行っている札幌市から、当時導入を担当された浅野氏をお招きし、同サービスと電子書籍を利用した今後の図書館の可能性についてお話いただきました。一部ではありますが、以下にご紹介します。

“札幌市では平成23年度の緊急雇用創出事業を利用し、500人規模での電子図書館実証実験を行いました。対象となった市民モニターだけでなく、図書館やコーヒーショップで誰もが体験可能とし、コンテンツも市内の出版社に呼びかけ、約200タイトルを図書館で電子化しました。実験後のアンケートでは電子書籍の提供を7割以上の方が希望。サービスの実現へと進みます。出版社の協力のもと、北海道デジタル出版推進協会（HOPPA）が立ち上がり、コンテンツの電子化の道筋も整いました。地域の図書館には人気の高い文芸書やハウツーものだけでなく、そこにしかない地元のコンテンツにも大きな期待が寄せられています。貴重な郷土資料や発行部数の少ない行政資料、書籍でなくても地域にある施設の情報もコンテンツ化すれば、教育や観光分野等で大いに活用できます。これからの図書館は本の館としてではなく、地域の魅力を電子化して発信することで地域力を高める、そんな役割を期待されているのではないのでしょうか。”

実際に貸出画面や作成されたコンテンツを見ながらのお話はとてもわかりやすく、時にユーモアを交えてご説明をいただき、終始和やかな研修会となりました。協会加盟館25館から68名の参加がありました。

（神戸市立中央図書館 西山智子）



第1回研究集会報告

テーマ：「居心地の良い図書館を目指して

—誰でも一人になれる場所—」

開催日：平成27年（2015）年12月10日（木）

会場：猪名川町立図書館

講師：坂上 雅翁 氏（関西国際大学教授）

図書館に来てくださった皆さんに心地よく、安全で快適に過ごしてほしいというのはすべての図書館員の願いだと思います。

図書館は誰でも利用することのできるパブリックな場所でありながら、そのサービス内容はとてもプライベートなものでもあります。それ故にデリケートな問題が発生する場合があります。思いや言葉、様々な行き違いからトラブルとなってしまったという苦い経験はどこの図書館でもあるのではないかと思います。

ひとり一人の利用者とどのように向かい合ったら良いのか、思い悩むことも多く、解決の糸口を見つけない、そのような気持ちで今回の研究集会を企画しました。



大学の教壇に立たれ多くの学生さんと関わられてきた講師のお話、エピソードには私たちが日々、迷い、悩んでいることへの答えがたくさん含まれていました。心に病を抱えられている方、障がいをお持ちの方への配慮の仕方なども具体的にご指導いただき、新たな発見、気づきを得ることもできました。

『誰にとっても居心地の良い図書館』の中には、図書館員の皆さんにとっても『居心地の良い』ということも含まれているのですよ」という講師のお言葉に意を強くし、利用者の皆さんに「図書館が好き」「図書館に来てよかった」と言っていただけのような図書館を目指して、今日もカウンターに立ちたいと思います。

（猪名川町立図書館 横畑明日香）

- ・**兵庫県立図書館**
ひょうご子ども読書活動推進フォーラム「公立図書館と学校との連携強化」県下6ヶ所で開催(8/26. 9/12. 10/3. 11/8. 11/22. 12/20)／「ひょうご子どもの読書活動推進計画(第3次)」策定(3月)
- ・**神戸市立中央図書館**
震災関連資料室リニューアル(1/4)／神戸市ネットワークサービス(k-libネット)パスワード発行の年齢制限廃止(11/1)
一**新長田** 仁川広域市コーナー開設(3/1)
一**灘・垂水・西** 自動貸出機運用開始(6/30)
- ・**西宮市立中央図書館**
「西宮市立図書館基本的運営方針」及び「事業計画」策定(4/1)／「西宮市立図書館資料収集に関わる基準」策定(4/1)／雑誌スポンサー制度導入(4/1)／中央図書館・鳴尾図書館・北部図書館の開館時間を9時30分からとし、中央図書館・鳴尾図書館の19時閉館を4月～9月(従来は7月～9月)に変更(4/1)
- ・**伊丹市立図書館**
雑誌スポンサー制度導入(4/1)／伊丹市立図書館条例の一部改正(6/30)
- ・**明石市立図書館**
電子図書館サービス導入(10/1)
- ・**加古川市立中央図書館**
図書館システム更新(クライアント・サーバ方式)(11/1)
- ・**高砂市立図書館**
直営から指定管理者に変更(4/1)／祝日を開館日に変更(4/1)
- ・**西脇市図書館**
図書館システム更新(10/1)／西脇市野村町茜が丘に移転開館(10/18)／BDS・自動貸出機・読書通帳機の導入(10/18)／開館時間を9:30～19:00へ変更・休館日を毎月最終水曜日に変更(10/18)／サービスポイント設置(市内公共施設6ヶ所で予約資料の受け渡し及び返却資料の預かりサービス)(10/18)
- ・**三木市立中央図書館**
図書館システム更新(6月)／三木市福井に移転開館(7/1)
- ・**多可町図書館**
メールマガジン配信サービス開始(9/17)
- ・**姫路市立城内図書館**
姫路市映像アーカイブ視聴開始(2/12)／「サピエ図書館」登録(6月)／医療健康情報サービス開始(7月)／学校支援パック事業開始(9/13)
一**夢前** 新・夢前分館開館(3/24)
- ・**赤穂市立図書館**
「私の読書ノート」発行(8月)
- ・**上郡町立図書館**
上郡町民図書室から上郡町立図書館へ組織変更(4/1)／ブックスタート開催方法の変更(4ヶ月、10ヶ月検診時に職員が訪問・読み聞かせ・周知)(4月)
- ・**豊岡市立図書館**
図書館情報システム更新及びホームページリニューアル(Facebookの運用開始)(5/1)／図書館まつりの開催(今年度より)(10/25)
- ・**新温泉町立加藤文太郎記念図書館**
鳥取県岩美町、香美町との図書相互利用開始(10/9)／図書館システム更新(12/1)／読書通帳機による読書通帳の使用開始(12/16)
- ・**洲本市立洲本図書館**
図書館システム更新(3/1)／読書手帳開始(5/1)
- ・**洲本市立五色図書館**
図書館システム更新(3/1)／読書手帳開始(5/1)
- ・**南あわじ市立図書館**
南あわじ市南淡図書館から南あわじ市立図書館へ組織変更(4/1)／南あわじ市三原図書館から南あわじ市中央公民館図書室へ組織変更(4/1)
- ・**加古川市立中央図書館、高砂市立図書館、加西市立図書館、稲美町立図書館、播磨町立図書館、姫路市立城内図書館、相生市立図書館、たつの市立龍野図書館、上郡町立図書館、いちかわ図書館、福崎町立図書館、太子町立図書館、佐用町立図書館、宍粟市立図書館、※神河町中央公民館図書室**
播磨圏域連携中枢都市圏内の図書館相互利用開始(播磨圏域7市8町)(11/1)
※は兵庫県図書館協会未加盟

内容については、「図書館年鑑2016年」編集に係る各加盟館からの情報提供を一部抜粋しました。

兵庫県図書館協会会報 No.108
平成28(2016)年3月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-8533 明石市明石公園1-27
兵庫県立図書館内
Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500
E-mail:hyoto_hyotokyo@library.pref.hyogo.lg.jp